

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成26年3月6日(2014.3.6)

【公表番号】特表2013-518220(P2013-518220A)

【公表日】平成25年5月20日(2013.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2013-025

【出願番号】特願2012-550082(P2012-550082)

【国際特許分類】

F 16 L 19/08 (2006.01)

【F I】

F 16 L 19/08

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月17日(2014.1.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

導管用の継手アセンブリであって、該継手アセンブリは、

一緒に組み立てができる第1の継手構成要素および第2の継手構成要素と、

少なくとも1つの導管把持デバイスと

を含み、

該少なくとも1つの導管把持デバイスは、一緒に組み立てられる該第1および第2の継手構成要素の組立ての前に、不連続サブアセンブリとして該第1および第2の継手構成要素のうちの1つによって保持される、継手アセンブリ。

【請求項2】

サブアセンブリとして、前記第1および第2の継手構成要素のうちの前記1つによって保持される2つの導管把持デバイスを含む、請求項1に記載の継手アセンブリ。

【請求項3】

前記継手アセンブリは、金属部品のみを含む、請求項1に記載の継手アセンブリ。

【請求項4】

前記継手アセンブリは、ステンレス鋼部品を含む、請求項3に記載の継手アセンブリ。

【請求項5】

前記少なくとも1つの導管把持デバイスは、前記サブアセンブリの中に緩く保持される、請求項1に記載の継手アセンブリ。

【請求項6】

第1および第2の導管把持デバイスを含み、該第1および第2の導管把持デバイスは、前記第1および第2の継手構成要素のうちの前記1つによって保持される前に一緒に保持される、請求項1に記載の継手アセンブリ。

【請求項7】

前記第1および第2の導管把持デバイスは、一緒に緩く保持される、請求項6に記載の継手アセンブリ。

【請求項8】

前記第1および第2の導管把持デバイスは、前記サブアセンブリの中に緩く保持される、請求項7に記載の継手アセンブリ。

【請求項9】

前記第1および第2の導管把持デバイスは、一緒にスナップで留まる、請求項7に記載の継手アセンブリ。

【請求項10】

導管継用手のプリアセンブリであって、該プリアセンブリは、
継手構成要素およびフェルールと、
保持構造であって、不連続プリアセンブリとして該継手構成要素によって該フェルール
を保持する保持構造と
を含む、プリアセンブリ。

【請求項11】

前記保持構造は、前記継手構成要素によって前記フェルールを緩く保持する、請求項10に記載のプリアセンブリ。

【請求項12】

継手を組み立てるための方法であって、該方法は、
導管把持デバイスを形成することと、
該導管把持デバイスから分離している継手構成要素を形成することと、
不連続サブアセンブリとして該継手構成要素によって第1および第2の導管把持デバイスを保持することと
を含む、方法。

【請求項13】

継手用のフェルールであって、該フェルールは、
外面および内面を有する本体であって、該本体は、導管上を摺動することができる、本体と、
該外面から延在する保持部材であって、該保持部材は、継手構成要素とともに組み立てられると、該継手構成要素の内面に係合するように適合され、それにより、該フェルールはサブアセンブリとして該継手構成要素によって保持される、保持部材と
を含む、フェルール。

【請求項14】

前記本体は、第2のフェルールの構造と噛合する構造を含み、該噛合することにより、
前記継手構成要素によって保持される前に、フェルールサブアセンブリとして該フェルールを一緒に保持する、請求項13に記載のフェルール。

【請求項15】

前記サブアセンブリは、a)前記フェルールが、前記フェルールサブアセンブリの中に
一緒に緩く保持されること、b)少なくとも1つのフェルールが、該継手構成要素とともに
組み立てられたときに該継手構成要素によって緩く保持されること、c)該フェルールが、
一緒にスナップで留まることにより、該フェルールサブアセンブリを形成すること、
d)該フェルールが、一緒にスナップで留まることにより該フェルールサブアセンブリを
形成し、該フェルールが一緒に緩く保持されること、のうちの少なくとも1つを含む、請求項14に記載のフェルール。

【請求項16】

導管用の継手であって、該継手は、
第1の継手構成要素と、第2の継手構成要素と、少なくとも1つの導管把持デバイスと
を含み、

該少なくとも1つの導管把持デバイスは、前記継手構成要素のうちの1つの組立ての
前に、不連続サブアセンブリまたはカートリッジとして該継手構成要素のうちの他方によ
って保持され、

該少なくとも1つの導管把持デバイスは、該不連続サブアセンブリまたはカートリッジ
が該第2の継手構成要素によって少なくとも部分的に引き上げられた後に、該継手構成要
素のうちの該1つから分離または解放する、継手。

【請求項17】

前記第1の継手構成要素は、ナットを含み、前記第2の継手構成要素は、本体を含む、

請求項 1 6 に記載の継手。

【請求項 1 8】

前記ナットと前記本体とは、一緒に螺合可能に接合可能である、請求項 1 7 に記載の継手。

【請求項 1 9】

前記導管把持デバイスは、フェルールを含む、請求項 1 6 に記載の継手。

【請求項 2 0】

前記継手構成要素のうちの前記 1 つによって保持される 2 つの導管把持デバイスを含む、請求項 1 6 に記載の継手。

【請求項 2 1】

前記導管把持デバイスは、第 1 の保持部分を含み、前記継手構成要素のうちの前記 1 つは、第 2 の保持部分を含み、該第 1 の保持部分と該第 2 の保持部分とは、協働することにより、該継手構成要素のうちの該 1 つによって該導管把持デバイスを保持する、請求項 1 6 に記載の継手。

【請求項 2 2】

前記継手構成要素は、雄ナットおよび雌本体、または雌ナットおよび雄本体を含む、請求項 1 7 に記載の継手。

【請求項 2 3】

前記不連続サブアセンブリまたはカートリッジは、金属構成要素のみから成る、請求項 1 6 に記載の継手。

【請求項 2 4】

少なくとも部分的な引上げ後に、前記継手構成要素のうちの前記 1 つは、材料干渉を伴わずに前記少なくとも 1 つの導管把持デバイスから軸方向に係脱することができる、請求項 1 6 に記載の継手。

【請求項 2 5】

導管継手用のプリアセンブリであって、該プリアセンブリは、
継手構成要素、第 1 のフェルール、および第 2 のフェルールと、
不連続カートリッジとして該継手構成要素によって該フェルールを保持する保持構造であって、該保持構造は、サブアセンブリが噛合継手構成要素によって少なくとも部分的に引き上げられた後に、該継手構成要素が該フェルールから分離することを可能にする、保持構造と

を含む、プリアセンブリ。

【請求項 2 6】

継手用のフェルールであって、該フェルールは、
外面および略円筒形の内面を有する略環状の本体であって、該本体は、導管上を摺動することができる、本体と、

該外面から延在する半径方向フランジであって、該フランジが継手構成要素とともに組み立てられると該継手構成要素の内面に係合するよう適合されることにより、該フェルールは、該継手構成要素によって保持可能である、フランジと
を含む、フェルール。

【請求項 2 7】

前記フランジは、多角形形状を含む、請求項 2 6 に記載のフェルール。

【請求項 2 8】

前記多角形形状は、六角形である、請求項 2 7 に記載のフェルール。

【請求項 2 9】

前記フランジは、雌ネジ山付きナットにねじ込むことができる、請求項 2 6 に記載のフェルール。

【請求項 3 0】

雄または雌ネジ山付き本体を含み、該本体は、不連続カートリッジとして 1 つ以上の導管把持デバイスを保持するための保持構造を中心に有する内面を含み、該保持構造は、該力

ートリッジが噛合継手構成要素と組み立てられ、および部分的または完全に引き上げられた後に、継手構成要素が該1つ以上の導管把持デバイスから分離することを可能にする、継手構成要素。

【請求項31】

保持継手構成要素、および継手アセンブリを作成するために該保持継手構成要素に接合されることができる噛合継手構成要素と、

少なくとも1つの導管把持デバイスと
を含み、

該少なくとも1つの導管把持デバイスは、該噛合継手構成要素との組立ての前に、不連続サブアセンブリ、またはカートリッジとして該保持継手構成要素によって保持され、該保持継手構成要素は、該少なくとも1つの導管把持デバイスを受容するソケットの内壁を有する略環状の本体と、第1の軸方向位置において該保持継手構成要素によって該少なくとも1つの導管把持デバイスを保持し、第2の軸方向位置において該少なくとも1つの導管把持デバイスを解放する、該ソケットの中の保持部材とを含む、導管継手。

【請求項32】

前記保持部材は、前記第1の軸方向位置において第1の半径方向位置を有し、前記第2の軸方向位置において第2の半径方向位置を有する、請求項31に記載の継手。

【請求項33】

前記保持部材が前記第1の軸方向位置にあるときに、該保持部材は、前記少なくとも1つの導管把持デバイスの表面に係合して、前記保持継手構成要素によって該少なくとも1つの導管把持デバイスを保持してもよい、請求項32に記載の継手。

【請求項34】

前記保持部材が前記第2の軸方向位置にあるときに、該保持部材は、保持する態様において前記少なくとも1つの導管把持デバイスの前記表面に係合しない、請求項33に記載の継手。

【請求項35】

前記保持部材は、略環状の部材を含む、請求項31に記載の継手。

【請求項36】

前記保持継手構成要素は、前記継手が少なくとも部分的に引き上げられたときに、前記保持部材の少なくとも一部分を受容する陥凹を含む、請求項35に記載の継手。

【請求項37】

前記保持部材は、Oリングまたはスナップリングを含む、請求項31に記載の継手。

【請求項38】

前記噛合継手構成要素は、前記保持継手構成要素が前記少なくとも1つの導管把持デバイスから分離可能であるように、前記保持部材を前記第2の軸方向位置に移動させる、請求項31に記載の継手。

【請求項39】

導管用の継手アセンブリであって、該継手アセンブリは、

一緒に組み立てられることができる第1の継手構成要素および第2の継手構成要素と、
少なくとも1つの導管把持デバイスと
を含み、

該少なくとも1つの導管把持デバイスは、一緒に組み立てられる該第1および第2の継手構成要素の組立ての前に、サブアセンブリとして該第1および第2の継手構成要素のうちの1つによって保持される、継手アセンブリ。

【請求項40】

サブアセンブリとして前記第1および第2の継手構成要素のうちの前記1つによって保持される2つの導管把持デバイスを含む、請求項39に記載の継手アセンブリ。

【請求項41】

前記継手アセンブリは、金属部品のみを含む、請求項39に記載の継手アセンブリ。

【請求項42】

前記継手アセンブリは、ステンレス鋼部品を含む、請求項4_1に記載の継手アセンブリ。

【請求項 4_3】

前記少なくとも1つの導管把持デバイスは、前記サブアセンブリの中に緩く保持される、請求項3_9に記載の継手アセンブリ。

【請求項 4_4】

前記第1および第2の継手構成要素のうちの前記1つによって保持される前に一緒に保持される第1および第2の導管把持デバイスを含む、請求項3_9に記載の継手アセンブリ。

【請求項 4_5】

前記第1および第2の導管把持デバイスは、一緒に緩く保持される、請求項4_4に記載の継手アセンブリ。

【請求項 4_6】

前記第1および第2の導管把持デバイスは、前記サブアセンブリの中に緩く保持される、請求項4_5に記載の継手アセンブリ。

【請求項 4_7】

前記第1および第2の導管把持デバイスは、一緒にスナップで留まる、請求項4_5に記載の継手アセンブリ。

【請求項 4_8】

導管継用手のプリアセンブリであって、該プリアセンブリは、
継手構成要素およびフェルールと、
該継手構成要素によって該フェルールを保持する保持構造と
を含む、プリアセンブリ。

【請求項 4_9】

前記保持構造は、前記継手構成要素によって前記フェルールを緩く保持する、請求項4_8に記載のプリアセンブリ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本明細書で説明される本発明のこれらおよび他の側面および利点は、添付図面を考慮して、当業者によって容易に認識および理解されるであろう。

本願明細書は、例えば、以下の項目も提供する。

(項目1)

導管用の継手アセンブリであって、該継手アセンブリは、
一緒に組み立てられることができる第1の継手構成要素および第2の継手構成要素と、
少なくとも1つの導管把持デバイスと
を含み、

該少なくとも1つの導管把持デバイスは、一緒に組み立てられる該第1および第2の継手構成要素の組立ての前に、不連続サブアセンブリとして該第1および第2の継手構成要素のうちの1つによって保持される、継手アセンブリ。

(項目2)

サブアセンブリとして、前記第1および第2の継手構成要素のうちの前記1つによって保持される2つの導管把持デバイスを含む、項目1に記載の継手アセンブリ。

(項目3)

前記継手アセンブリは、金属部品のみを含む、項目1に記載の継手アセンブリ。

(項目4)

前記継手アセンブリは、ステンレス鋼部品を含む、項目3に記載の継手アセンブリ。

(項目5)

前記少なくとも1つの導管把持デバイスは、前記サブアセンブリの中に緩く保持される、項目1に記載の継手アセンブリ。

(項目6)

第1および第2の導管把持デバイスを含み、該第1および第2の導管把持デバイスは、前記第1および第2の継手構成要素のうちの前記1つによって保持される前に一緒に保持される、項目1に記載の継手アセンブリ。

(項目7)

前記第1と第2の導管把持デバイスとは、一緒に緩く保持される、項目6に記載の継手アセンブリ。

(項目8)

前記第1および第2の導管把持デバイスは、前記サブアセンブリの中に緩く保持される、項目7に記載の継手アセンブリ。

(項目9)

前記第1と第2の導管把持デバイスとは、一緒にスナップで留まる、項目7に記載の継手アセンブリ。

(項目10)

導管継手用のプリアセンブリであって、該プリアセンブリは、継手構成要素およびフェルールと、保持構造であって、不連続プリアセンブリとして該継手構成要素によって該フェルールを保持する保持構造とを含む、プリアセンブリ。

(項目11)

前記保持構造は、前記継手構成要素によって前記フェルールを緩く保持する、項目10に記載のプリアセンブリ。

(項目12)

継手を組み立てるための方法であって、該方法は、導管把持デバイスを形成することと、該導管把持デバイスから分離している継手構成要素を形成することと、不連続サブアセンブリとして該継手構成要素によって第1および第2の導管把持デバイスを保持することとを含む、方法。

(項目13)

継手用のフェルールであって、該フェルールは、外面および内面を有する本体であって、該本体は、導管上を摺動することができる、本体と、該外面から延在する保持部材であって、該保持部材は、継手構成要素とともに組み立てられると、該継手構成要素の内面に係合するように適合され、それにより、該フェルールはサブアセンブリとして該継手構成要素によって保持される、保持部材とを含む、フェルール。

(項目14)

前記本体は、第2のフェルールの構造と噛合する構造を含み、該噛合することにより、前記継手構成要素によって保持される前に、フェルールサブアセンブリとして該フェルールと一緒に保持する、項目13に記載のフェルール。

(項目15)

前記サブアセンブリは、a)前記フェルールが、前記フェルールサブアセンブリの中に一緒に緩く保持されること、b)少なくとも1つのフェルールが、該継手構成要素とともに組み立てられたときに該継手構成要素によって緩く保持されること、c)該フェルールが、一緒にスナップで留まることにより、該フェルールサブアセンブリを形成すること、

d) 該フェルールが、一緒にスナップで留まることにより該フェルールサブアセンブリを形成し、該フェルールが一緒に緩く保持されること、のうちの少なくとも1つを含む、項目14に記載のフェルール。

(項目16)

導管用の継手であって、該継手は、

第1の継手構成要素と、第2の継手構成要素と、少なくとも1つの導管把持デバイスとを含み、

該少なくとも1つの導管把持デバイスは、継手構成要素のうちの1つとの組立ての前に、不連続サブアセンブリまたはカートリッジとして該継手構成要素のうちの他方によって保持され、

該少なくとも1つの導管把持デバイスは、該不連続サブアセンブリまたはカートリッジが該第2の継手構成要素によって少なくとも部分的に引き上げられた後に、該継手構成要素のうちの該1つから分離または解放する、継手。

(項目17)

前記第1の継手構成要素は、ナットを含み、前記第2の継手構成要素は、本体を含む、項目16に記載の継手。

(項目18)

前記ナットと本体とは、一緒に螺合可能に接合可能である、項目17に記載の継手。

(項目19)

前記導管把持デバイスは、フェルールを含む、項目16に記載の継手。

(項目20)

前記継手構成要素のうちの前記1つによって保持される2つの導管把持デバイスを含む、項目16に記載の継手。

(項目21)

前記導管把持デバイスは、第1の保持部分を含み、前記継手構成要素のうちの前記1つは、第2の保持部分を含み、該第1の保持部分と第2の保持部分とは、協働することにより、該継手構成要素のうちの該1つによって該導管把持デバイスを保持する、項目16に記載の継手。

(項目22)

前記継手構成要素は、雄ナットおよび雌本体、または雌ナットおよび雄本体を含む、項目17に記載の継手。

(項目23)

前記不連続サブアセンブリまたはカートリッジは、金属構成要素のみから成る、項目16に記載の継手。

(項目24)

少なくとも部分的な引上げ後に、前記継手構成要素のうちの前記1つは、材料干渉を伴わずに前記少なくとも1つの導管把持デバイスから軸方向に係脱することができる、項目16に記載の継手。

(項目25)

導管継手用のプリアセンブリであって、該プリアセンブリは、

継手構成要素、第1のフェルール、および第2のフェルールと、

不連続カートリッジとして該継手構成要素によって該フェルールを保持する保持構造であって、該保持構造は、サブアセンブリが噛合継手構成要素によって少なくとも部分的に引き上げられた後に、該継手構成要素が該フェルールから分離することを可能にする、保持構造と

を含む、プリアセンブリ。

(項目26)

継手を組み立てるための方法であって、該方法は、

第1の導管把持デバイスを形成することと、

該第1の導管把持デバイスから分離している第2の導管把持デバイスを形成することと

、
該第1および第2の導管把持デバイスから分離している継手構成要素を形成することと

、
不連続サブアセンブリとして該継手構成要素によって該第1および第2の導管把持デバイスを保持することと
を含む、方法。

(項目27)

第2の継手構成要素を形成し、前記導管把持デバイスから第1の継手構成要素を解放する少なくとも部分的な引上げの間に、導管端上に該第2の継手構成要素によって前記不連続サブアセンブリを接合するステップを含む、項目26に記載の方法。

(項目28)

継手用のフェルールであって、該フェルールは、

外面および略円筒形の内面を有する本体であって、該本体は、導管上を摺動することができる、本体と、

該外面から延在する半径方向フランジであって、該フランジが継手構成要素とともに組み立てられると該継手構成要素の内面に係合するよう適合されることにより、該フェルールは、該継手構成要素によって保持可能である、フランジと
を含む、フェルール。

(項目29)

前記フランジは、多角形形状を含む、項目28に記載のフェルール。

(項目30)

前記多角形形状は、六角形である、項目29に記載のフェルール。

(項目31)

前記フランジは、雌ネジ山付きナットにねじ込むことができる、項目28に記載のフェルール。

(項目32)

雄または雌ネジ山付き本体を含み、該本体は、不連続カートリッジとして1つ以上の導管把持デバイスを保持するための保持構造を中に有する内面を含み、該保持構造は、該カートリッジが噛合継手構成要素と組み立てられ、および部分的または完全に引き上げられた後に、継手構成要素が該1つ以上の導管把持デバイスから分離することを可能にする、継手構成要素。

(項目33)

導管継手用の継手構成要素であって、該継手構成要素は、

保持継手構成要素、および継手アセンブリを作成するように該保持継手構成要素に接合
することができる噛合継手構成要素と、

少なくとも1つの導管把持デバイスと

を含み、

該少なくとも1つの導管把持デバイスは、該噛合継手構成要素との組立ての前に、不連続サブアセンブリまたはカートリッジとして該保持継手構成要素によって保持され、該保持継手構成要素は、該少なくとも1つの導管把持デバイスを受容するソケットの内壁を有する略環状の本体と、第1の位置において該少なくとも1つの導管把持デバイスを保持する、内壁から延在する屈曲可能部材または突起とを含む、継手構成要素。

(項目34)

導管継手用のプリアセンブリであって、該プリアセンブリは、

継手構成要素と、フェルールとを含み、

該継手構成要素は、少なくとも1つの導管把持デバイスを受容するソケットの内壁を有する略環状の本体と、第1の位置において該少なくとも1つの導管把持デバイスを保持する、内壁から延在する屈曲可能部材または突起とを含む、プリアセンブリ。

(項目35)

雄または雌ネジ山付き本体であって、該本体は、不連続カートリッジとして1つ以上の

導管把持デバイスを保持するための保持構造を中に有する内面を含み、該保持構造は、該少なくとも1つの導管把持デバイスを受容するソケットの内壁と、第1の位置において該少なくとも1つの導管把持デバイスを保持し、第2の位置において該保持構造が該少なくとも1つの導管把持デバイスから分離可能になることを可能にする、該内壁から延在する部材または突起とを含む、継手構成要素。

(項目36)

導管継用手の継手アセンブリであって、該継手アセンブリは、
保持継手構成要素、および該継手アセンブリを作成するために該保持継手構成要素に接合
されることができる噛合継手構成要素と、
少なくとも1つの導管把持デバイスと
を含み、

該少なくとも1つの導管把持デバイスは、該噛合継手構成要素との該保持継手構成要素の組立ての前に、不連続サブアセンブリまたはカートリッジとして該保持継手構成要素によって保持され、該保持継手構成要素は、該少なくとも1つの導管把持デバイスを受容するソケットの内壁を有する略環状の本体と、該少なくとも1つの導管把持デバイスを保持する、該内壁から延在する部材または突起とを含む、継手アセンブリ。

(項目37)

保持継手構成要素、および継手アセンブリを作成するために該保持継手構成要素に接合
されることができる噛合継手構成要素と、
少なくとも1つの導管把持デバイスと
を含み、

該少なくとも1つの導管把持デバイスは、該噛合継手構成要素との組立ての前に、不連
続サブアセンブリまたはカートリッジとして該保持継手構成要素によって保持され、該保
持継手構成要素は、該少なくとも1つの導管把持デバイスを受容するソケットの内壁を有
する略環状の本体と、保持部材と、該保持部材の少なくとも一部分を受容する、該内壁に
形成される陥凹とを含み、該保持部材は、該保持継手構成要素によって該少なくとも1つ
の導管把持デバイスを保持する、導管継手。

(項目38)

前記保持部材は、半径方向に拡張可能である、項目37に記載の継手。

(項目39)

前記保持部材は、Oリングを含む、項目38に記載の継手。

(項目40)

前記保持部材は、半径方向に拡張可能である分割金属リングを含む、項目38に記載の
継手。

(項目41)

前記分割金属リングは、多角形を有する、項目40に記載の継手。

(項目42)

前記多角形は、六角形を含む、項目41に記載の継手。

(項目43)

前記保持部材は、略環状の部材を含む、項目37に記載の継手。

(項目44)

継手アセンブリを作成するために第2の継手構成要素に接合される
ことができる本体と

、
少なくとも1つの導管把持デバイスと
を含み、

該少なくとも1つの導管把持デバイスは、該第2の継手構成要素との組立ての前に、不連
続サブアセンブリ、プリアセンブリ、またはカートリッジとして該本体によって保持さ
れ、該本体は、略環状の形状を含み、該少なくとも1つの導管把持デバイスを受容するソ
ケットの内壁と、保持部材と、該保持部材の少なくとも一部分を受容する、該内壁に形成
される陥凹とを有し、該保持部材は、該継手構成要素によって該少なくとも1つの導管把

持デバイスを保持する、導管継手構成要素。

(項目45)

保持継手構成要素、および継手アセンブリを作成するために該保持継手構成要素に接合されることができる噛合継手構成要素と、

少なくとも1つの導管把持デバイスと
を含み、

該少なくとも1つの導管把持デバイスは、該噛合継手構成要素との組立ての前に、不連続サブアセンブリ、ブリアセンブリ、またはカートリッジとして該保持継手構成要素によって保持され、該保持継手構成要素は、該少なくとも1つの導管把持デバイスを受容するソケットの内壁を有する略環状の本体と、第1の軸方向位置において該保持継手構成要素によって該少なくとも1つの導管把持デバイスを保持し、第2の軸方向位置において該少なくとも1つの導管把持デバイスを解放する、該ソケットの中の保持部材とを含む、導管継手。

(項目46)

前記保持部材は、前記第1の軸方向位置において第1の半径方向位置を、前記第2の軸方向位置において第2の半径方向位置を有する、項目45に記載の継手。

(項目47)

前記保持部材が前記第1の軸方向位置にあるときに、該保持部材は、前記少なくとも1つの導管把持デバイスの表面に係合して、前記保持継手構成要素によって該少なくとも1つの導管把持デバイスを保持してもよい、項目46に記載の継手。

(項目48)

前記保持部材が前記第2の軸方向位置にあるときに、該保持部材は、保持する態様において前記少なくとも1つの導管把持デバイスの前記表面に係合しない、項目47に記載の継手。

(項目49)

前記保持部材は、略環状の部材を含む、項目45に記載の継手。

(項目50)

前記保持継手構成要素は、前記継手が少なくとも部分的に引き上げられたときに、前記保持部材の少なくとも一部分を受容する陥凹を含む、項目49に記載の継手。

(項目51)

前記保持部材は、Oリングまたはスナップリングを含む、項目45に記載の継手。

(項目52)

前記噛合継手構成要素は、前記保持継手構成要素が前記少なくとも1つの導管把持デバイスから分離可能であるように、前記保持部材を前記第2の軸方向位置に移動させる、項目45に記載の継手。

(項目53)

導管継手用のブリアセンブリであって、該ブリアセンブリは、

継手構成要素と、フェルールとを含み、

該継手構成要素は、該フェルールを受容するソケットの内壁を有する略環状の本体と、第1の軸方向位置において該フェルールを保持し、第2の軸方向位置において該フェルールを解放する保持部材とを含む、ブリアセンブリ。

(項目54)

雄または雌ネジ山付き本体であって、該本体は、不連続カートリッジとして1つ以上の導管把持デバイスを保持するための保持構造を中に有する内面を含み、該保持構造は、保持部材を含み、該保持部材は、第1の軸方向および半径方向位置において該少なくとも1つの導管把持デバイスを保持し、第2の軸方向および半径方向位置において保持継手構成要素が該少なくとも1つの導管把持デバイスから分離可能になることを可能にする、継手構成要素。

(項目55)

導管継手用の継手アセンブリであって、該継手アセンブリは、

保持継手構成要素、および該継手アセンブリを作成するために該保持継手構成要素に接合することができる噛合継手構成要素と、
少なくとも1つの導管把持デバイスと
を含み、

該少なくとも1つの導管把持デバイスは、該噛合継手構成要素との該保持継手構成要素の組立ての前に、不連続サブアセンブリまたはカートリッジとして該保持継手構成要素によって保持され、該保持継手構成要素は、該少なくとも1つの導管把持デバイスを受容するソケットの内壁を有する略環状の本体と、第1の軸方向位置において該少なくとも1つの導管把持デバイスを保持する離散保持部材とを含み、該保持部材は、少なくとも部分的な引上げの間に該噛合継手構成要素によって第2の軸方向位置まで移動させられる、継手アセンブリ。

(項目56)

前記継手アセンブリの少なくとも部分的な引上げの間に、前記噛合継手構成要素は、前記保持部材に接触し、それを軸方向および半径方向に移動させて、前記保持継手構成要素が、前記少なくとも1つの導管把持デバイスから分離可能になることを可能にする、項目55に記載の継手アセンブリ。

(項目57)

導管継手用の継手であって、該継手は、

保持継手構成要素、および継手アセンブリを作成するために該保持継手構成要素に接合することができる噛合継手構成要素と、

少なくとも1つの導管把持デバイスであって、該少なくとも1つの導管把持デバイスは、該該噛合継手構成要素との組立ての前に、不連続サブアセンブリまたはカートリッジとして該保持継手構成要素によって保持される、少なくとも1つの導管把持デバイスと、

該保持継手構成要素によって該少なくとも1つの導管把持デバイスを担持する保持部材であって、該保持部材は、該少なくとも1つの導管把持デバイスが導管上への該継手の少なくとも部分的な引上げの間に変形すると、該少なくとも1つの導管把持デバイスを解放する、保持部材と

を含む、継手。

(項目58)

前記保持部材は、クリップを含み、該クリップは、前記少なくとも1つの導管把持デバイスが応力を受けていない状態にあるとき、該少なくとも1つの導管把持デバイスに係合する、項目57に記載の継手。

(項目59)

前記少なくとも1つの導管把持デバイスは、サブアセンブリとして一緒に組み立てられる2つのフェルールを含み、前記保持部材は、該2つのフェルールのうちの1つを担すことにより、前記保持継手構成要素によって該フェルールの両方を保持する、項目58に記載の継手。

(項目60)

前記保持部材は、前記保持継手構成要素と一体であるか、または該保持継手構成要素に付着している離散部品であるタンクを含み、部分的または完全な引上げの前に前記少なくとも1つの導管把持デバイスを摩擦によって担持する、項目59に記載の継手。

(項目61)

前記保持部材は、前記少なくとも1つの導管把持デバイスにクリップで留まる第1の端と、前記保持継手構成要素の一部分にクリップで留まる第2の端とを有する略環状のクリップ状部材を含む、項目57に記載の継手。

(項目62)

導管継手用のプリアセンブリであって、該プリアセンブリは、

継手構成要素と、フックまたはクリップと、フェルールとを含み、

該フックまたはクリップは、不連続カートリッジとして該継手構成要素によって該フェルールを保持するため、該継手構成要素および該フェルールに取付け可能である、プリ

アセンブリ。

(項目 6 3)

前記フェルールは、噛合継手構成要素を用いた前記プリアセンブリの少なくとも部分的な引上げの間、または完全な引上げの間に、前記フックまたはクリップから解放するよう半径方向に変形する、項目 6 2 に記載のプリアセンブリ。

(項目 6 4)

前記継手は、旋回よりもむしろトルクによって引き上げられる、項目 1 ~ 6 3 のいずれかに記載のアセンブリ。

(項目 6 5)

導管用の継手アセンブリであって、該継手アセンブリは、一緒に組み立てられることができる第 1 の継手構成要素および第 2 の継手構成要素と、少なくとも 1 つの導管把持デバイスとを含み、

該少なくとも 1 つの導管把持デバイスは、一緒に組み立てられる該第 1 および第 2 の継手構成要素の組立ての前に、サブアセンブリとして該第 1 および第 2 の継手構成要素のうちの 1 つによって保持される、継手アセンブリ。

(項目 6 6)

サブアセンブリとして前記第 1 および第 2 の継手構成要素のうちの前記 1 つによって保持される 2 つの導管把持デバイスを含む、項目 6 5 に記載の継手アセンブリ。

(項目 6 7)

前記継手アセンブリは、金属部品のみを含む、項目 6 5 に記載の継手アセンブリ。

(項目 6 8)

前記継手アセンブリは、ステンレス鋼部品を含む、項目 6 7 に記載の継手アセンブリ。

(項目 6 9)

前記少なくとも 1 つの導管把持デバイスは、前記サブアセンブリの中に緩く保持される、項目 6 5 に記載の継手アセンブリ。

(項目 7 0)

前記第 1 および第 2 の継手構成要素のうちの前記 1 つによって保持される前に一緒に保持される第 1 および第 2 の導管把持デバイスを含む、項目 6 5 に記載の継手アセンブリ。

(項目 7 1)

前記第 1 および第 2 の導管把持デバイスは、一緒に緩く保持される、項目 7 0 に記載の継手アセンブリ。

(項目 7 2)

前記第 1 および第 2 の導管把持デバイスは、前記サブアセンブリの中に緩く保持される、項目 7 1 に記載の継手アセンブリ。

(項目 7 3)

前記第 1 および第 2 の導管把持デバイスは、一緒にスナップで留まる、項目 7 1 に記載の継手アセンブリ。

(項目 7 4)

導管継手用のプリアセンブリであって、該プリアセンブリは、継手構成要素およびフェルールと、該継手構成要素によって該フェルールを保持する保持構造とを含む、プリアセンブリ。

(項目 7 5)

前記保持構造は、前記継手構成要素によって前記フェルールを緩く保持する、項目 7 4 に記載のプリアセンブリ。